
松川町地球温暖化対策実行計画（区域施策編）

資 料 編

令和6年9月

松 川 町

目 次

資料編

CHAPTER 1. アンケート調査	1
1-1. 住民アンケート集計	1
1-1-1. 住民アンケート 選択回答集計	1
1-1-2. 住民アンケート 記述回答集計	11
1-2. 事業者アンケート集計	21
1-2-1. 事業者アンケート 選択回答集計	21
1-2-2. 事業者アンケート 記述回答集計	31

Chapter 1. アンケート調査

1-1. 住民アンケート集計

1-1-1. 住民アンケート 選択回答集計

全応答人数 415 (名)

■【属性】 回答者様ご自身についてお聞かせください。

※いずれも回答者ご自身において当てはまる番号に「○」をしてください。

問1：年齢を選択してください。

年 齢	人 数	割 合
10代	1	0.2%
20代	17	4.1%
30代	31	7.5%
40代	48	11.6%
50代	65	15.7%
60代	83	20.0%
70代以上	170	41.0%
合 計	415	100.0%

問2：ご職業を選択してください。

職 業	人 数	割 合
会社員	95	22.9%
無職	87	21.0%
自営業（農業）	70	16.9%
パート・アルバイト	62	14.9%
自営業（農業以外）	40	9.6%
家事専業	31	7.5%
公務員	15	3.6%
その他	14	3.4%
学生	1	0.2%
合 計	415	100.0%

問3：居住形態

居住形態	人 数	割 合
持家（一戸建て）	384	92.5%
民間賃貸住宅	13	3.1%
その他	8	1.9%
公営住宅	7	1.7%
持家（一戸建て以外）	2	0.5%
杜宅等	1	0.2%
合 計	415	100.0%

問4：居住年数（※1）

（※1） あなたが居住する住所の世帯主様の居住年数

居住年数	人数	割合
0 ～ 4 年	26	6.3%
5 ～ 9 年	27	6.5%
10 ～ 19 年	50	12.0%
20 ～ 29 年	62	14.9%
30 ～ 39 年	60	14.5%
40 ～ 49 年	54	13.0%
50 ～ 59 年	53	12.8%
60 ～ 69 年	33	8.0%
70 ～ 79 年	36	8.7%
80 ～ 89 年	13	3.1%
90 ～ 99 年	1	0.2%
100 年以上	0	0.0%
	415	100.0%

問5：居住地を選択してください。

居住地	人 数	割 合
名子区	117	28.2%
上片桐区	94	22.7%
大島区	75	18.1%
上新井区	68	16.4%
古町区	20	4.8%
福与区	16	3.9%
生東区	13	3.1%
部奈区	12	2.9%
合 計	415	100.0%

■【意識調査】 地球温暖化についてお聞きします。

※当てはまる番号に「○」をしてください。

Q1：地球温暖化問題への関心の度合いについてお聞かせください。

球温暖化問題への関心度	人 数	割 合
やや関心がある	188	45.3%
とても関心がある	185	44.6%
それほど関心はない	31	7.5%
関心がない	11	2.7%
合 計	415	100.0%

Q2：地球温暖化の影響で不安に感じることは何ですか。（3つまで）

地球温暖化や気候変動リスクに対する意識度	延べ人数（複数回答）	割合
異常気象による干ばつや大洪水など災害発生（水害や渇水の危険性の増大）	312	26.9%
農業や漁業への影響（栽培品種の変化、不作・不漁、病害虫の異常発生など）	225	19.4%
生態系への影響（動植物の生息域の変化、種の絶滅など）	114	9.8%
健康への影響（熱中病、伝染病の拡大など）	169	14.6%
冷暖房などエネルギー使用量の増加にともなう家計負担への影響	136	11.7%
食料価格上昇による家計負担への影響	133	11.5%
海面の上昇による陸地の消滅	41	3.5%
自然資源を活用した観光やレジャーへの影響（スキー場や季節に応じた祭りなど）	12	1.0%
特に不安に感じることはない	6	0.5%
その他	2	0.2%
わからない	8	0.7%
合 計	1158	100.0%

Q3：以下の地球温暖化問題に対する考えについて、あなたの考えに近いものをお聞かせください。

球温暖化問題に対する考え方	人 数	割合
自分が何をして良いかわからないが、地球温暖化問題は解決すべきと思う	152	36.6%
地球温暖化問題は、企業や行政が責任をもって、取り組むべきだと思う	148	35.7%
自分の現在の生活様式を変えていかなければ、解決できないと思う	83	20.0%
その他	16	3.9%
自分の現在の生活様式を変えなくても、大丈夫だと思う	14	3.4%
自分が取り組まなくても、技術の進歩で解決できると思う	2	0.5%
合 計	415	100.0%

Q4：日本で消費されるエネルギー資源のほとんどを海外からの輸入に頼っている現状について、あなたの考えに近いものをお聞かせください。

エネルギー資源に対する関心度	人 数	割合
エネルギー資源の自給自足を図るべきである	285	68.7%
継続して輸入できるようにすべきである	82	19.8%
特に考えていない	30	7.2%
その他	10	2.4%
このような現状をはじめて知った	8	1.9%
合 計	415	100.0%

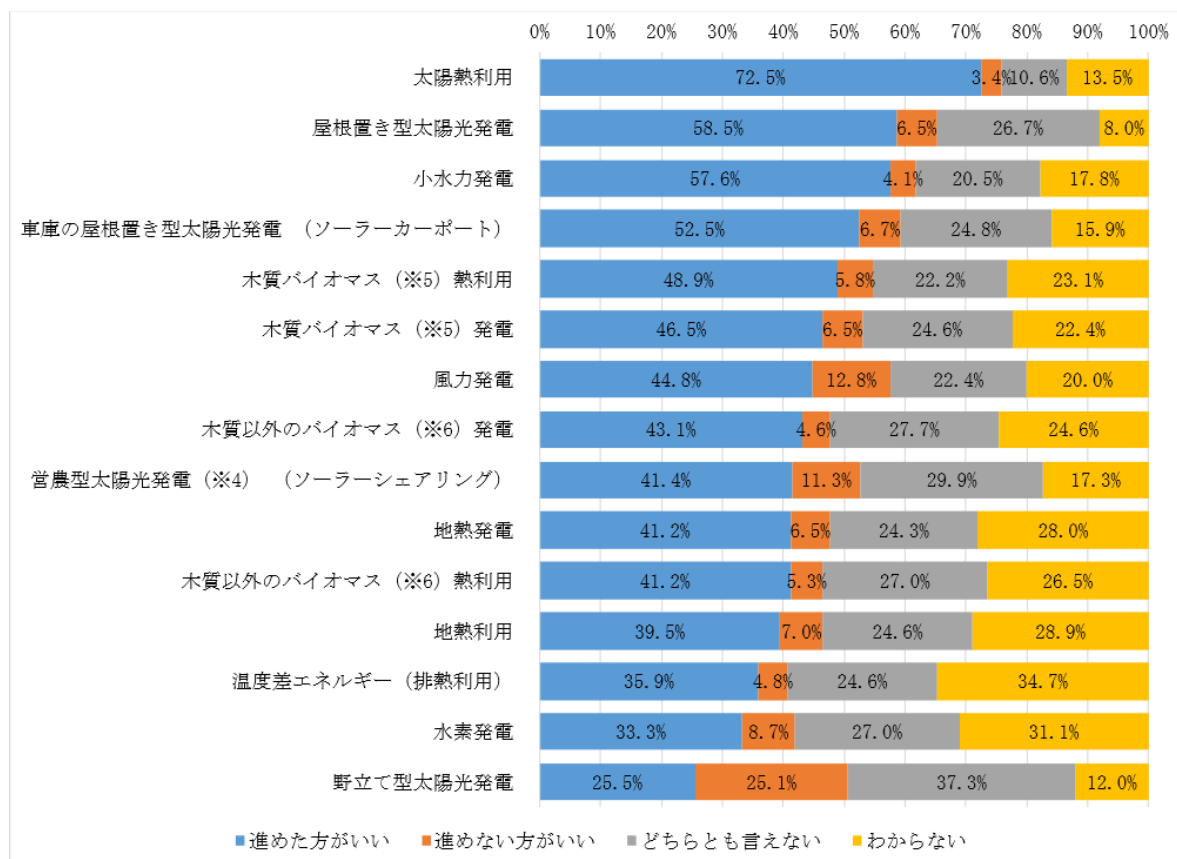
Q5：地球温暖化の影響を「緩和」するためには、普段の生活の中で化石燃料等のエネルギー消費量を減らし、温室効果ガスの排出量を抑えることが大切です。以下の中から地球温暖化対策について適していると考ええるものをお聞かせください。（3つまで）

地球温暖化対策についての関心度	延べ人数（複数回答）	割合
太陽光発電、風力発電、太陽熱利用など、再生可能エネルギー（※2）の利用促進	280	24.6%
リサイクルなど資源の有効利用の促進	189	16.6%
地球温暖化防止に役立つ技術開発の推進	131	11.5%
植樹や樹木の維持管理の促進	126	11.1%
電気自動車やハイブリッド自動車などの環境にやさしい自動車の普及促進	100	8.8%
省エネ家電・省エネ住宅の普及促進	80	7.0%
学校や地域などにおける環境学習の充実	58	5.1%
環境に配慮した企業活動、産業活動の推進	48	4.2%
町民、団体などによる率先した地球温暖化防止活動の推進	32	2.8%
コミュニティバスなどの公共交通機関の充実	31	2.7%
地球温暖化についての情報提供や広報活動の促進	30	2.6%
温室効果ガスの排出に対する条例などによる規制	23	2.0%
その他	12	1.1%
合 計	1140	100.0%

（※2） 再生可能エネルギーとは、自然界に存在する持続的に利用することができるエネルギー（非化石燃料）を指す。（例：太陽光、水力、風力、バイオマス^{（※3）}、地熱など）。以下、省略して「再エネ」と称する場合があります。

（※3） バイオマスとは、動植物などから生まれた生物資源の総称。木質バイオマスは、地域の間伐材や製材廃材等の木質系の生物資源をいう。木質以外のバイオマスは、農業残さ、家畜排せつ物、生ごみ（食物残さ）、下水汚泥等の生物資源をいう。

Q6：今後の松川町内においての再生可能エネルギー導入についてのお考えをお聞かせください。



- (※4) 営農型太陽光発電とは、
農地に支柱を立てて上部空間に太陽光発電設備を設置し、太陽光を農業生産と発電で共有する取り組み。農作物と太陽光パネルで太陽の日差しを「シェア」して活用しているため、「ソーラーシェアリング」とも呼ばれる。営農型太陽光発電は、農業と再生可能エネルギーを結びつけられる。
- (※5) 木質バイオマスとは、
動植物などから生まれた生物資源であるバイオマスの中で、地域の間伐材や製材廃材等の木質系の生物資源をいう。
- (※6) 木質以外のバイオマスは、
農業残さ、家畜排せつ物、生ごみ（食物残さ）、下水汚泥等の生物資源をいう。

Q7：「気候変動危機への適応^(※7)」という言葉を知っていますか。

気候関連に対する関心度	人 数	割 合
なんとなく知っている	163	39.3%
聞いたことはある	114	27.5%
今回、初めて知った	91	21.9%
よく知っている	47	11.3%
合 計	415	100.0%

- (※7) 気候変動危機への適応とは、
気候変動による悪影響(自然災害、熱中症、農作物の品質悪化など)を回避・軽減するための取組のこと。

Q8：「気候変動危機への適応」について、日頃から取り組んでいることをお聞かせください。（3つまで）

気候変動危機に対する取組	延べ人数（複数回答）	割合
気象情報をこまめに確認する	274	28.1%
熱中症への対策をとる	241	24.7%
防災用具を準備しておく	113	11.6%
日頃から節水を心がける	103	10.6%
防災地図（ハザードマップ）などを日頃から確認しておく	87	8.9%
特に取り組んでいない	63	6.5%
防災訓練に参加する	57	5.8%
感染症を防ぐため薬や蚊帳などを使う	21	2.2%
気象災害用の保健に加入する	8	0.8%
その他	8	0.8%
	975	100.0%

Q9：松川町全体として取り組むべき気候変動危機への適応について、特に必要だと考える分野をお聞かせください。（3つまで）

取り組むべき気候変動危機への適応	延べ人数（複数回答）	割合
自然災害分野（短時間強雨や大雨、土砂災害への対策など）	350	33.1%
農業分野（農作物への高温障害への対策など）	239	22.6%
健康分野（熱中症や感染症への対策など）	193	18.3%
水環境分野（水不足への対策など）	140	13.3%
産業・観光分野（事業活動や観光産業に対する影響の対策など）	62	5.9%
自然分野（絶滅の危機がある動植物の保全対策など）	57	5.4%
その他	9	0.9%
特に取り組む必要はない	6	0.6%
合 計	1056	100.0%

Q10：地球温暖化対策のために、松川町全体として、中期的（2030 年頃まで）に重視すべき方向性について、考えをお聞かせください。（3つまで）

中期的（2030 年頃まで）に重視すべき方向性	延べ人数（複数回答）	割合
ごみの排出を抑えて、再利用とリサイクルが普及した循環型社会が実現している町	249	23.8%
豊かな町の緑を守り、森林資源（木質バイオマス）の利用が進んだ町	218	20.8%
太陽光発電や風力発電等の再生可能エネルギーが普及した町	149	14.2%
環境教育を促進し、子供からお年寄りまで皆で一緒に取り組める町	142	13.5%
町全体で脱炭素化（CO ₂ の排出量ゼロを目指す）に向けた活動が浸透している町	122	11.6%
気候変動による健康被害（熱中症など）や自然災害に対する適応策が浸透している町	120	11.5%
「水素社会」を目指し、水素エネルギーを生かした町	30	2.9%
その他	18	1.7%
合 計	1048	100.0%

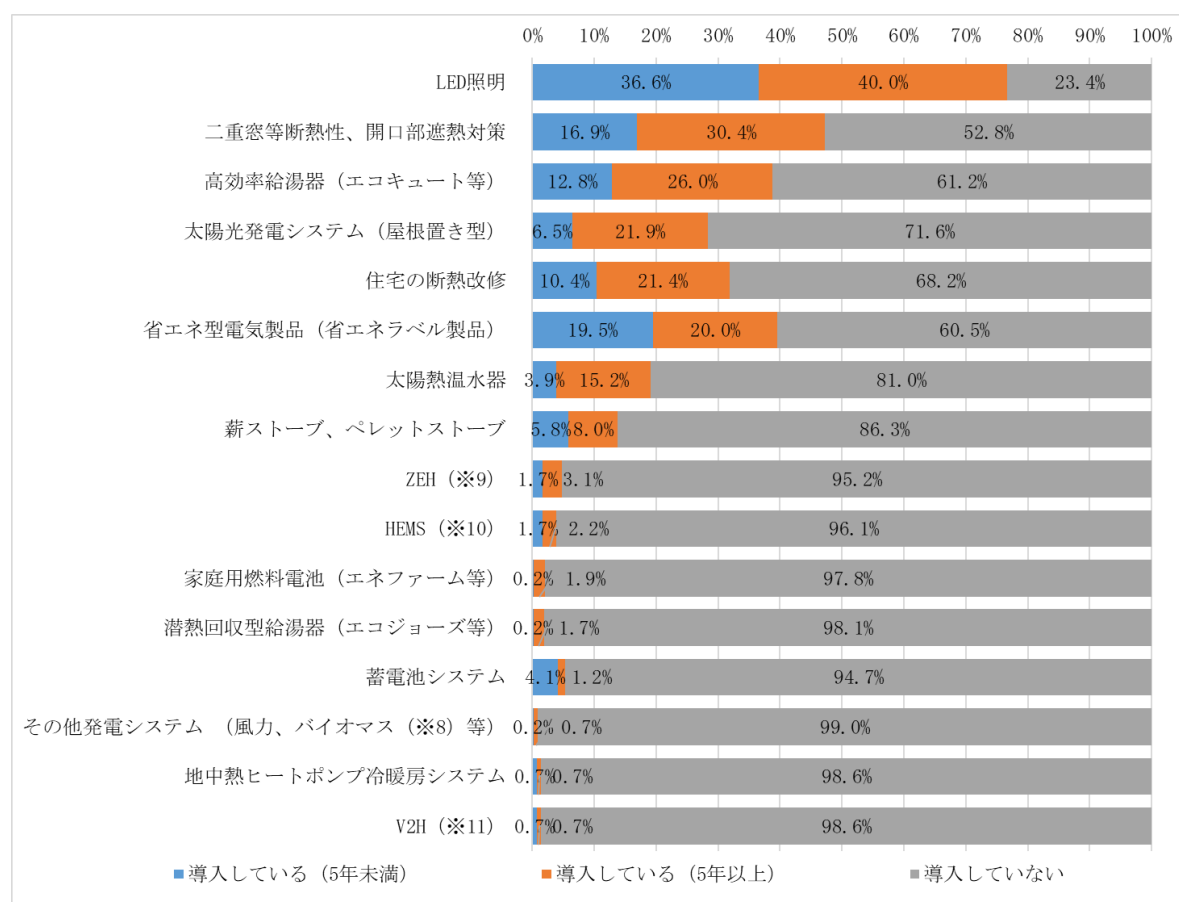
Q11：私たちの生活水準の保持と自然環境の保全との関係について、どのようにお考えか、お聞かせください。（1つだけ）

生活水準の保持と自然環境の保全との関係性	人 数	割 合
生活水準の保持も、自然環境の保全も両立させる必要がある	205	49.4%
現在の生活水準を変えない範囲で、自然環境の保全を行う必要がある	85	20.5%
現在の生活水準を多少変えてでも、自然環境の保全を行う必要がある	76	18.3%
わからない	28	6.7%
自然環境の保全を最優先に行う必要がある	15	3.6%
自然環境の保全よりも、生活水準を向上させる方が重要である	6	1.4%
合 計	415	100.0%

■【実態調査】 再エネ・省エネについてお聞きします。

※当てはまる番号に「○」を、又は記入をしてください。

Q12：現在、ご自宅において再エネ・省エネ機器・設備等の保有状況について、当てはまる番号に「○」をしてください。



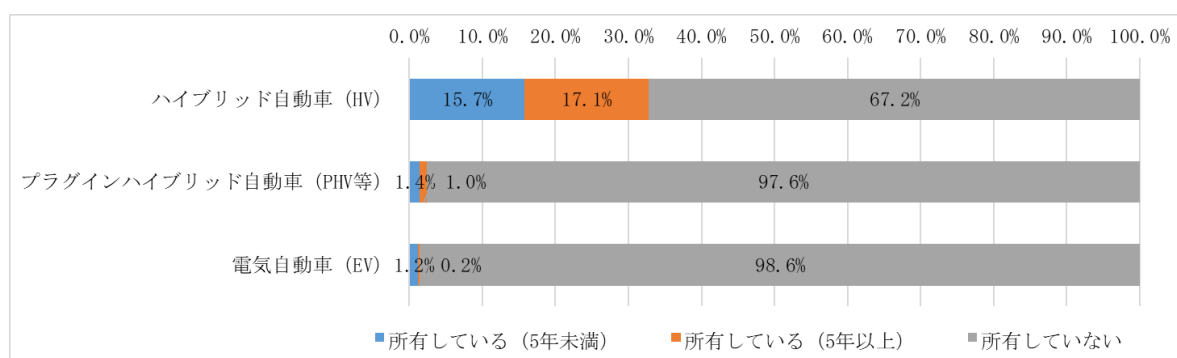
（※8） バイオマスとは、動植物などから生まれた生物資源の総称。木質バイオマスは、地域の間伐材や製材廃材等の木質系の生物資源をいう。木質以外のバイオマスは、農業残さ、家畜排せつ物、生ごみ（食物残さ）、下水汚泥等の生物資源をいう。

（※9） ZEHとは外側の断熱性能等を大幅に向上させるとともに、高効率な設備システムの導入により、室内環境の質を維持しつつ大幅な省エネを実現した上で、再エネの導入により、年間エネルギー消費量がゼロ以下となることを目指した住宅のことをいう。

（※10） HEMSとは「Home Energy Management System（ホーム エネルギー マネジメント システム）」の略。家庭で使うエネルギーを節約するための管理システムです。家電や電気設備とつないで、電気やガスなどの使用量をモニター画面などで「見える化」し、家電機器を「自動制御」できる。

（※11） V2Hとは「Vehicle to Home」の略で、日本語訳すると『クルマから家へ』という意味の言葉。具体的には、電気自動車（EV）に貯めている電気を住宅でも使えるシステム、仕組みのことをV2Hと呼ぶ。

Q13：現在、クリーンエネルギー自動車^(※12)を所有していますか？ 当てはまる番号に「○」をしてください。



(※12) クリーンエネルギー自動車とは、走行時の排出ガスが少ない、または全く出ない自動車のことをいう。

車 種	略 称	動 力	燃 料
電気自動車	EV	モーター	充 電
ハイブリッド自動車	HV	エンジン+モーター	ガソリン
プラグインハイブリッド自動車	PHV 等	エンジン+モーター	充電+ガソリン

Q14：現在、再エネ設備、省エネ設備、それぞれの導入に際して課題に感じていることについて、当てはまる番号に「○」をしてください。

再エネ設備、省エネ設備、それぞれの導入に際しての課題	延べ人数（複数回答）	割 合
設備に係る費用が高い	284	53.9%
設置によるメリットやデメリット、効果的な手法など、詳しい内容がよくわからない	87	16.5%
建物の構造上、設置が難しい	79	15.0%
どこに相談してよいのかわからない	33	6.3%
特に課題はない	24	4.6%
その他	20	3.8%
合 計	527	100.0%

■【要望調査】行政の地球温暖化対策についてお聞きします。

※当てはまる番号に「○」を、又は記入をしてください。

Q15：地球温暖化対策を進めるにあたり、松川町全体でどんな取組みが必要であると思われるか、お聞かせください。（3つまで）

地球温暖化対策に対する取組み	延べ人数（複数回答）	割合
再生可能エネルギーの導入を進める	183	17.0%
ごみの減量化やリサイクルを徹底する	135	12.5%
森林整備を進める（間伐、植樹等）	130	12.1%
国、県、町等による一般住宅や事業所への補助・助成を拡大する	112	10.4%
住宅や建築物の省エネ化（ZEH（※13）、ZEB（※14））を進める	80	7.4%
環境教育・学習を充実させる	68	6.3%
省エネ行動を心がけるなどのライフスタイルを見直す	59	5.5%
電気自動車や燃料電池車などの次世代自動車の導入を進める	52	4.8%
家電製品等の省エネ化を進める	52	4.8%
公共交通（バス、タクシー、電車等）の交通体系を改善する	45	4.2%
工場・店舗などの事業所において省エネ化を進める	43	4.0%
環境情報を広く一般に提供する	33	3.1%
その他	27	2.5%
水素エネルギー等、次世代エネルギーの活用を促進する	26	2.4%
物流などの運輸体系を改善する	12	1.1%
二酸化炭素固定技術などの新しい技術を研究し開発する	10	0.9%
炭素税の導入、低公害車への優遇措置などの経済的取組みを展開する	9	0.8%
合 計	1076	100.0%

（※13） ZEH（ゼッチ）とは、「ネット・ゼロ・エネルギー・ハウス」の略。

電気や熱などのエネルギー使用量を多く減らすために、住宅の断熱性能や省エネ性能を向上し、さらに太陽光発電などの再生可能エネルギーを利用して生活に必要なエネルギーをつくり出すことにより、年間の一次消費エネルギー量（空調・給湯・照明・換気）をおおむねゼロ以下にする住宅のこと。

（※14） ZEB（ゼブ）とは、「ネット・ゼロ・エネルギー・ビルディング」の略。

電気や熱などのエネルギー使用量を多く減らすために、建物の断熱性能や省エネ性能を向上し、さらに太陽光発電などの再生可能エネルギーを利用して生活に必要なエネルギーをつくり出すことにより、建物の一次消費エネルギー量（空調・給湯・照明・換気）が計算上ゼロエネルギーの建物のこと。

Q16：長野県及び松川町に住宅の屋根への太陽光発電設備及び蓄電池の設置に対する補助制度（※¹⁵）があることをご存じですか。

（※15） 住宅の屋根への太陽光発電設備及び蓄電池の設置に対する補助制度：長野県の場合、太陽光＋蓄電池は最大20万円、蓄電池のみは最大15万円、松川町の場合、太陽光は最大9万円、蓄電池は最大10万円の補助金。

補助制度の周知度	人 数	割 合
聞いたことはあるが内容は知らない	213	51.3%
聞いたことがない	127	30.6%
内容を知っている	75	18.1%
合 計	415	100.0%

Q17: 松川町では、地球温暖化対策について様々な地域課題との同時解決が可能と考えています。地球温暖化の影響のみにとどまらず、現状地域において課題だと感じていることをお聞かせください。(自然、景観(ゴミ)、温暖化による暮らしの変化、観光、農業、林業、交通、防災、福祉等)

応答 146 (有効 144) >1-1-2. 住民アンケート 記述回答集計 11P 参照

Q18: 地球温暖化対策についての情報は、どちらから得ていますか。(当てはまる番号全てに「○」をしてください)

情報への感度	延べ人数(複数回答)	割合
テレビ・ラジオ	304	39.0%
新聞	211	27.1%
インターネット	154	19.7%
広報まつかわ	68	8.7%
書籍・雑誌・専門誌	28	3.6%
その他	15	1.9%
合 計	780	100.0%

Q19: 松川町の地球温暖化対策・エネルギー政策への提案など、ご意見があればお聞かせください。

応答 91 (有効 87) >1-1-2. 住民アンケート 記述回答集計参照 17P

1-1-2. 住民アンケート 記述回答集計

全応答人数 415（名）

Q17: 松川町では、地球温暖化対策について様々な地域課題との同時解決が可能と考えています。地球温暖化の影響のみにとどまらず、現状地域において課題だと感じていることをお聞かせください。（自然、景観（ゴミ）、温暖化による暮らしの変化、観光、農業、林業、交通、防災、福祉等）

応答 146（有効 144）

〈キーワードの分類〉

1. 人口問題と子育て支援

子供の数の減少、人口減少、少子高齢化、子育て環境の改善、子育て世帯の住居建設、UターンやIターンの促進、子供に対する福祉

2. 環境問題と地球温暖化対策

地球温暖化対策、CO2削減、植林と木の手入れ、環境配慮型バスの導入、再生可能エネルギーの活用、ごみのリサイクル化、太陽光発電と蓄電池、無農薬農業

3. 経済活動と地域開発

収支の増加、商業施設の充実、農業の維持と農地の荒廃、観光開発、新しい企業の誘致、商店街の発展

4. インフラと公共サービス

道路の拡充、学校の建直し、交通の必要性、防犯と防災対策、災害対策、ゴミの分別と回収

5. 社会的課題

外国人問題、水資源の買収、空き家や廃墟の問題、地域コミュニティの維持、高齢者の生活支援

6. 環境保護と廃棄物管理

ゴミの分別、不法投棄、リサイクル促進、ゴミの減量、生ゴミの自宅処理、プラスチックごみ問題

7. 農業と地域環境

農業の高齢化と後継者不足、農地の荒廃、果樹園の維持、農作物への気候変動の影響、農業従事者の減少

8. エネルギーと温暖化対策

太陽光パネルと環境影響、再生可能エネルギーの普及、温暖化対策、節電とエネルギー効率

9. 地域インフラと公共サービス

道路と交通の問題、空き家問題、上下水道とインフラ整備、公共交通の利便性

10. 防災と災害対策

防災訓練と意識向上、水害対策、避難所の安全性と衛生、災害時の緊急対応

11. 地域経済と観光

道の駅の設置、観光施設の活性化、地域経済の振興、農業と観光の連携

12. 社会問題と地域コミュニティ

高齢化社会とその影響、地域コミュニティの活性化、若者の地元離れ、地域の人口減少

13. 自然保護と生態系

森林の整備と保護、生物多様性の保全、自然環境の維持

14. その他

景観の問題、自然エネルギーの推進、地域行事への参加、二世帯住宅の増加

回答内容

一番の課題は子供の数の減少だと考えます。地球温暖化対策に取り組むにもお金が必要です。お金を生むには収支を増やすか支出を減らすのどちらかです。収支を増やす事を考えると、人口を増加させる事が重要と考えます。現在の松川町の状況は子供の数が著しく減少しています。子供を増やす事は人口の増加に繋がります。子供に対する福祉や子育て環境を改善し、（支援センターの充実、学校の建直し、道路の拡充、子育て世帯の住居建設、宅地の開拓、スーパー等商業施設の充実、子供連れで楽しめる娯楽施設（キャンプ場やホテル）の建設等）UターンやIターンを促進することが必要ではないでしょうか。

現時点では全く問題ないと思いますが、川口市のクルド人問題のようなことが起きないように、対策はしっかり検討しておくべきと考えます。外国人や外国資本による水資源の買収も、今後おそらく問題が顕在化するはずで。併せて、しっかりと事前に対策を講じて頂きたいです。また課題ではないですが、町として有機農業に力を入れていることは非常に素晴らしいと思います。ぜひ継続してください。
景観について 高齢化が進んだり、都会へ出ていく人が多くなり、空き家や廃墟となっている住宅が増えたように思う。(住人がいても庭が荒れている家庭も。防犯や防災の為に建物対策をしてほしい。交通について・松川町では車は必須。学校の遠い子がバス通学できるのはありがたい。バスは必要だからこそ環境配慮型バス導入を検討してほしい。
木がおい茂ると木の足元に生えている草が育たなくなり、CO2削減に活躍してくれないと思う。植林は必要だと思うが足許に光が入るよう手入れしないといけない。庭木の手入れもままならず、電柱や街灯が草木で隠れて役目が果たされない所もあります。景観だけでなく防犯上よろしくないと思う。松川町はそういう場所が多いと思う。
アンケートが目指している省エネの方法が現実的ではない。太陽光発電や蓄電池の耐用年数が短く作るにも危険物質出て費用もかさみ使用後の処理に困るのに消エネになるとは思わない。家電が壊れても修理してくれず新しい物を買わせる仕組みになっているので、ものを大切に長く使える様にしてほしい。
生田地区に住んでいます。大雨や雪が降ると、道路に木や竹が倒れてきそうな所が多くあり、心配しています。ガソリンが高くなってきていて、毎日の保育園の送迎や通勤での燃料代も増えています。このままだと、元大島に引っ越したほうが良いのではと思ってしまいます。
地球温暖化対策は脱炭素ですが今石油・ガソリンを除外したら生活できない。松川町は里山も含め山が多くなかには手の入っていない山も多い。従事する人がおれば県の森林税を活用したり森林組合に依頼等含め整備する事も災害対策にもつながり無駄ではないと思う。
農業をしっかりとやって果物など直売や「もなりん」等でも販売してお客様も多勢来てくださるのですが、若い方の農業離れがあり農地が空いてそのままの所が目立ちます。観光の為、道の駅にするとか、「もなりん」を広くするとか、子供も楽しめる場所があるといいですね。
地球温暖化対策について様々な地域課題との同時解決が可能と考えています。地球温暖化の影響のみに留まらず上記をどう捉えれば良いか分かりません。松川町の歴史や文化を用いて、各種産業との相乗効果を得られるような新たなコンテンツを創出する。
農業などによる再生可能エネルギーの活用を促進する。ごみを野焼している人がいるので、ごみ環境学習をしっかりとやるとかしないと地球環境をよくすることができない。お年寄りに固定観念を持つ人が多い(ゴミはもやしゃーいいとか言う人がいる)
自宅で家庭ゴミを燃やしている家が多い。農業で出た枝を燃やす時に捨てにくい家財やプラスチックなどを燃やし、黒い煙や臭いがひどい家を見る。まずできる環境対策として、まず一戸一戸が分別回収、排出を徹底しなくてはならない。
町内で生活するのに、車がどうしても必要です。町で始めた？タクシーは良いアイデアと思いますが停留所が少ないと思います。目的地に寄ってはかなりの距離を歩かなければなりません、今年のような暑い日が続くと年寄には危険です。
環境問題は結局のところ未来への投資と準備。町民の特に中高年者に多い「今だけ金だけ自分だけ」という意識が、この問題解決を阻害している。極端な話、この世代が逝去して新世代が社会の中核にならないと変化は不可能。
新しく考えることも必要だが今松川町が持っているくだもの町自然(森・川・山等)を活かした(発展させた)未来像がないことが残念。リニア開通後の躍動を期待したい。地域温暖化をチャンスと考えたらよいのではないかな。
町の人口減少・高齢化・農業の維持・農地の荒廃などが課題だと感じます。又、自治会が昔と同じで、役が回ってくるのが多すぎて住みづらさを感じます。だから若い人は自治会に入らないし、定住しないと思います。
松川町(フルーツや野菜)の魁なしやりんご、ぶどうのみならず他のフルーツや野菜で有名にし、観光地として来てもらえるような町にする。・商店街の発展・屋外でゴミを燃やすことによる二酸化炭素発生。
リニア整備に伴い、都会からの移住促進をとにかく進める。人口減少させない！新しい企業誘致を行い、人口増加を進め、観光面でも清流苑以外にも他町村へ観光客が流れないような場所を作る。(道の駅等・・・)

災害時など避難所へ避難するほうが危険を感じる。（山道を移動するのは危険）ゴミの分別が大切なのは理解しているが、ルールが細かすぎて疲れてしまう、簡略化し、リサイクルに繋がる方法を考えてほしい。
果樹の農薬散布(特に SSN によるもの)周辺の作物や建物に飛んで来ますし、歩いている小学生にかかっているのを見たことがあります。農薬を減らすように（できれば無農薬）になればよいとお凜います。
太陽光発電システムの設置により樹木が伐採され自然破壊されている。野生動物への影響も懸念される。又、高齢化による交通の必要性も心配。温暖化による気象の変化が著しく土砂・災害なども心配。
地域における温暖化進み、地域コミュニティの維持とインフラの維持に不安を感じる。次世代の人材・確保・育成を考えるなかで環境保全を含めた松川町の目指す指標をしっかりと検討する必要があると思う。
地球温暖化の情報開示や対策は必要だと思っているが、具体的に自分が何をすれば良いかわからないと思うどんな取り組みをすれば、温暖化対策になるのか情報発信したり学校教育でも取り上げる。
地球温暖化は待ったなしの深刻だと思います。新しいエネルギーを導入するだけでなく一人ひとりが大きな深刻だと思えるような強い情報を発信してみんなで取り組めるようにすることが大切だと思います。
ごみのリサイクル化。稲葉クリーンセンターのような持ち込み可能な施設の強化。燃える物だけでなく、プラ・新聞・ダンボール・ペットボトル・不燃物・金属資源も持ち込み可能施設の強化を求める。
無用な郵送物が多いと感じています。たとえばこのアンケートも、もっと有効な方法が考えられないものか…郵送ならば多くの回答を得る工夫をしないとゴミ箱に入れてしまいそうになります。
地球温暖化と言っているが、ほんとうにそうなのか疑問であると思う、地球規模の年月で考えれば一万年後は低温状態になっているかも知れない、自然には逆えれないが、今出来ることはやるべき。
自然エネルギーを使う事の推進、たとえば太陽光発電・蓄電池の設置等行った家庭に対して補助が出来ない等の場合は減税等行うとか、多勢の人が意識出来るような取組みを町を挙げて行ってほしい。
各施設の老朽化対策が大変なので徐々にまとめていけばよいと思う。不用品のリサイクル活動（学用品・教科書・ランドセル・衣服・アルミ缶・ペットボトル回収をもっと頻繁に行ってほしい。
地域行事等の参加者が少なくなり近所付き合い等も以前と比べ希薄になりつつありコミュニケーション不足。物事に無関心な人々が増えているような気がします。（自治会等に参加しない）
二世帯住宅が増え、親の家の処分を考えているが疑問に思う。空き家・荒地・が増え、防災にも景観にも悪い、新築の際にももう少し踏み込んだ指導・アドバイスの出来る人がいると良い。
上方桐大柏南の住人です、住宅街裏の町有林、私有林が大木になりこれから秋に向け大量の落葉で住民の皆さんが苦勞しています。町としても無視する事なく対応すべきです。
太陽光発電はとても有効だと思う。住宅の屋根の上では、その傷みが心配。土地に設置すれば景観があまりよくなく、雑草も大変です。個人個人でできる対策を教えてください。
少子高齢の加速化、町内に魅力的な商店・企業が無い。魅力的・話題性のある町となる事で様々な事を発信できる。人々の関心をひくことで住んでいる人の意識も変わる。
資源ゴミ出しが老人世帯には大変です。車に乗れなくなったらどうしましょう、燃えるゴミはそう遠くないので。なんでもかでも、燃えるゴミにしまいそうです。
多くの人が集まる様な道の駅を作ってほしい。（デザイナーやコーディネーターを入れて）プラゴミの日を増やしてほしい（収集場に収まらず散らかって見える。
松川町はゴミの排出量が非常に多いし処分にかかる費用が他の市町村に比べ高すぎる。不正無く行われているのか回収業者への監査を行った方がよいと思います。
個人で出来るエコ活動（ゴミの分別・水や電気の節約等）身近なことで実施している。一人一人の意識を高めるようにPRや教育活動を進めていけると良いと思う。
マイ・タイムラインの普及。マイ・ハザードマップの普及。避難所の安全性・衛生面の向上。生活インフラ（電気・ガス・上下水道・生活道路）寸断時の緊急対応。
昔、太陽光パネルの近くに行ったら、かなりの熱を感じました。この様な物が全国にあったら余計に温暖化が進む様な気がします。丸剤のパネルは大丈夫ですか。
不法投棄したゴミが多くみられる。町民に対する啓発と観光客に対する指導と対策の強化が必要。防災として水害対策強化・避難所運営の職員への訓練が必要。

温暖化の影響を受けやすい農業と思います。今年の様に雨が少ないと作物ができず本当に大変です。これからもっと大変な事になると思うと心配です。
国に全体で24時間営業工場も、自動販売機を考える事。あまりにも資源エネルギーが無い国家といいながら経済優先がこの問題を提起している。
この10年で環境が大きく変わっている事を実感している。早急に対策が必要です。何をすればよいのか一つでも分かりやすく話を聞きたい。
ソーラーパネルが使用できなくなった後の処理について不安。環境に負担が少なく処理や再利用できれば太陽光発電をより広めていけると思う。
道路河川公園等雑草や木が伸び放題となっています。見た目にも汚なく、とてもきれいな街とは思えません。管理できないものなのでしょうか。
質問と違う事と思いますが、家具とかおもちゃとか家電製品とか・・・これは修理可能なのか見てくれる機会があったり人物がいると嬉しい。
農業（果樹等）森林は長期的にCO2 吸収の貢献が評価され対価があるべき。バイオマスの利用も材料は豊富なので利活用が望まれる。
農家の減少・高齢化・重労働等くだものの町としては早急に解決しなければならない事項だと感じます。追記：品質の劣化も・・・。
気候変動の対策は進んでいると思うが、現在でも天候悪化などが深刻になっている。町の人からごみ問題等改善していったらと思う。
家庭ごみを野焼する人が、見受けられる。環境問題を考えるうえで、悪臭や水の汚染など他人に迷惑をかける行為に閉口している。
温暖化対策と地域課題の同時解決をどう考えているのか具体例が知りたい。空き家・農地・各面の担い手不足、それに伴う負担増加。
森林の整備(環境・防災・資源の面から。屋根への太陽光発電への助成金の増額。主力産業の農業振興(遊休農地を減らす。
野立て型太陽光発電設置も景観も大事なので、環境も考えながら推進してほしい。森・林を整備し鳥等の保護等・自然を守る。
空き家対策の庭等・草等で荒れ放題・景観もよくないが動物が住み始めたりするとよろしくない。防犯上もよくないと思う。
賃貸住宅に住んでいますので、賃貸物件を所持している方に補助金を出して物件に対策ができるようにしてほしいです。
自然に囲まれた町で再生可能な物がたくさんある気がする。町民の生活が潤えばいい。果樹園の捨てるようなものとか。
避難所におけるTKB（※トイレ・キッチン・ベッド）の控除と共に、一時避難所が体育館だとしても仮説住宅が直ちに設置できるよう願っています。
まず国の政策がきちんと方向性が出ている事。これを町に入れ込んできちんと実行し、周りにも情報発信し進める事。
松川町は農家が多いので果物の外側が焼けてしまう等、農家の方々の影響をもう少し考えていってもいいと思う。
地域の利を生かして、観光以外でも人を呼びこめる施設を考えて頂きたい。(一部で実施をされているようですが)
農業耕作地の荒廃化。農家生まれの子供達が、農業に関心がないこと。手伝わない。サラリーマン化の意識の変化。
温暖化による夏の気温上昇にともない子供達の野外活動が制限されてしまうのでそれに代わる場所や環境を整えてほしい。
観光施設フォレストアドベンチャー松川・清流苑などいいところがいっぱいあるのに何か活気が無いように感じる
太陽光発電に関して終結的な設置し、あっちこっちに点在していると景観的にも良くない。(今更遅いかも)

夜の道の暗さ。(松川大橋の点灯を暗くなる前に付くようにしてほしい) 活気のある町でないといつまらない。
泉庭園のゴミ(塩ビ系)野焼をしている。本人の言えず。ご近所・他地域から畑に来てついでに焼却している。
太陽光発電は手ごろで有効な方法と考えるが(廃棄物)処理、および、周囲の自然環境への影響に問題あり。
空き家の整備。野良猫を地域猫へするための理解と活動への補助。禁止するばかりではなく対策を願います。
幹線道路の助走の不足。(景観がよくない)歩道含む排水路の整備。横断歩道の未設定。消火栓の増設。
ゴミの減量特に資源として再利用可能なものがほとんどである。リサイクル化をもっと取り組まれない。
町内には職場が少く町外に出て職場に車で行かなければならない、現状車での移動以外考えられない。
空き家が多くなり、所有者不在で樹木が荒れ放題になっている。景観が悪く、害虫の発生も多い。
ガソリン車をなるべく使わないような取り込みが必要。そのため自転車道の整備をしてほしい。
高齢化による特養待機者多数をどうするか。地域密着型特養もなく、松川荘も老朽化している。
4月より「ちょいそこ」が始まり助かっています。時間も都合の良い時に申し込みありがたい。
インターから駅までの交通がない(タクシーだけ)。外からの人を松川へ呼び込めない。
未手入れの農地・山林・竹林の整備・活性化により環境をよくし、暮らし安くしたい。
河川の場合はコンクリートで作っているので場所によって石積みなどにしたほうが良い
自治会加入者が減少しており、自治会加入に対してのメリットがない松川町の現状。
農業について、今まで問題にならなかった病気や害虫の被害が増え、対応が難しい。
交通の公共性を進めてほしい。「ちょいそこ」の500円は少し高め(他市町村に比較)
使用不可能になって家電品などの、その処分方法について具体的に周知すること。
温暖化による農産物への悪影響を耳にします。品種改良等が必要ではないか。
線上降水帯やゲリラ豪雨など気候変動、降水の少雨と高温による松茸の不作。
移動手段に自動車がない世代のために、交通の便を良くしてあげてほしい。
交通の便が悪い。将来車が手放せるか不安(自動運転にはなりそうですが)
学識経験者により対策チームを結成して取り組まないと一般人には難しい。
上片桐地区、生田地区に食品を扱う店が少ない。川で涼めるところがない。
荒れている使われていないの家が目立ってきているように思います。
人口林(杉・桧)を減らし、自然林回復する。広葉樹の植林を推進する。
同時解決が可能と考える根拠を示すべき。具体策は何かの例示が必要。
昔から保守的な町なので、大きな改革は無理。町に期待していません。
高齢者が免許返納後の交通手段が少なすぎる。不便な町だと思う。
地球温暖化により対策は必要だと思うが、年齢的に考えられない。
屋根置き以外の太陽光発電は導入できないような町にしてほしい。
生ゴミは自宅で処理し肥料として再利用する。広い直路の整備。
町がどのように考えているのか町民にまったく伝わってこない。
山火事等災害が発生した場合に延焼防止などの取り組みをしてはどうか。
各家庭で気を付ける事を広報などでもっと啓発していく。
山の手入れがされなくなりかなり荒れた山が多くなっている。
農業従事者による高齢化若者の地元離れ。成人の未婚率。
気候に応じた農作物の導入に対応できずに離農者が増える。

基本的に国の問題だ。公に発表している事が間違っている。
高齢化による空き果樹園などが荒れていることについて。
飯島町のように小規模水力発電設備で沢山作ってほしい。
緑の多いのはいいですが、森林の整備をしてもらいたい。
外人のゴミの分別が出来ていない。ひどすぎるよー。
景観の良い地域に公園・道路など検討お願いします。
年金生活において良い事と思うが現状はやらない。
基本的に全ての項目において検討が必要と感じる。
ゴミのポイ捨て。道路の雑草。耕作放棄地の樹木。
電気自動車を増やす。灯油を使わず薪を使う。
道路にゴミが捨てられているのを時々見かける。
便利を我慢する。一家庭一つ野菜を育てる。
空き家や一人暮らしの高齢者宅が増えている。
土地の草刈りが進まず、荒地が増えている。
温暖化による自然災害。健康への不安。
耕作放棄地・空き家・ゴミの不当放棄
農業と災害が特に課題と考えます。
ゴミの減量化、自然災害への対応。
夏の温度上昇の為、熱中症者増加。
不法投棄の罰則化（河川・山間地）
空き家による景観、防犯の問題。
小河川(井水・排水)の整備。
考え方の年代・家族での違い。
自治会未加入者への情報共有。
地域の住人減少(若年層)。
このままで良いと思います。
大雨時に対する対策・対応。
景観特に不法投棄ゴミ。
土地の荒廃・空き家の増加。
果樹園(りんご)の維持。
ダンプの通行量が多い。
高齢による農業地放棄。
野・山の整備が大切。
季節感がなくなる。
松川（河川整備）
農業(栽培品種)
災害（すべて）
考え付かない。
病院が少ない。
観光・交通

交通
節電

Q19：松川町の地球温暖化対策・エネルギー政策への提案など、ご意見があればお聞かせください。

応答 91（有効 87）

＜キーワードの分類＞

1. 地球温暖化とエネルギー政策

地球温暖化対策、CO2 排出量の追跡、温暖化と CO2 の相関性、ゼロカーボンの前提の可否、科学的根拠、温暖化の原因、エネルギー政策の独自基準、松川町のエネルギー政策、エネルギー自立

2. 太陽光発電とその問題点

太陽光発電の推進、太陽光パネルの廃棄、ソーラーシェアリング、補助金、抽選制度、耐久性、地震時の安全性、ゴミ問題

3. 再生可能エネルギーと地域エネルギー

再生可能エネルギーの導入、蓄電システム、電気自動車、地元エネルギー、太陽熱利用、薪、小水力、公共施設への導入、比較結果公表

4. 地域社会と環境問題

地域のエネルギー政策、産業や家計への影響、情報提供と意識改革、特産品活用、森林整備、農業の環境保全型転換、木材利用

5. 気候変動とその影響

異常気象、大雨と作物への影響、野生動物の被害、温暖化の影響への疑問、一般論への批判、防止策の手間と労力、対策提案と協力

6. 教育と環境意識

学校での地球温暖化教育、個人の環境対策、政策への理解不足、協力意識の欠如

7. 太陽光発電と補助金

太陽光発電設備への補助、蓄電池設置補助、補助金制度の拡充、住宅用設備補助、省エネ商品購入補助

8. エネルギー政策と環境保護

木質バイオマス活用、自然環境・野生動物保護、地産地消、再生エネルギー設置推進、ソーラーシェアリング、公用車の EV 化

9. 温暖化対策と住民意識

温暖化対策の徹底、CO2 排出削減のための住民意識改革、学習・広報活動、町政の対策広報、危機感の共有、対策の必要性認識、環境教育の充実

10. その他の提案と要望

補助金や減税提案、ごみ排出ガイドマップ、電気自動車インフラ整備、再生可能エネルギー供給、地形・気候活用対策、研究機関協力、水道料金引き下げ、水資源確保、補助金アクセス改善、町政の一貫性、自然エネルギー資源活用、小水力発電の問題と可能性、電気代補助、水道代減額、重点項目整理、補助制度確立、広報要望、太陽光発電エネルギー活用、環境問題克服、太陽光パネル廃棄方法、風力発電検討、補助金充実と見直し、間伐材配布

回答内容

「ゼロカーボン」がすべての前提になっていますが、その前提は本当に正しいのでしょうか？科学的根拠をもってしっかり検証・判断すべきと考えます。「温暖化と CO2 の間に相関性は全くない」と主張する論文やシンクタンクは数多くありますが、そちらの意見はまったく報道に乗らないことも含めて、個人的には大いに欺瞞があると感じているところです。松川町行政には、単純に世界の大きな流れに乗るのではなく、独自の基準を持った賢明な判断を期待します。特に太陽光発電は、中国資本やチベット・ウイグルの人権問題が大きく絡んでいたり、廃棄の問題がまったく解決されていないので、出口戦略がはっきりしない限り強く反対です。

海外に頼ったエネルギーの利用を転換していく時期だと思います。地元で自立できるエネルギーは、太陽光発電、太陽熱利用、薪（ストーブやボイラー）、小水力でしょうか。太陽光発電と蓄電システム、電気自動車をセットで導入すると、エネルギーの自立ができます。建物の屋根に載せなくても、畑の上やガレージ、薪棚の上など利用して小規模な太陽光の発電で蓄電して自家利用できたら、災害時などでも電気を使えます（生田は荒天で停電しやすいです）太陽熱温水器とボイラーを併用すると、ガスや灯油の利用量が抑えられます。ボイラーが薪ボイラーなら、地域の木を使えるので、適切な森林の維持管理にも繋がると思います。

国や県の圧力に従うのではなく、流行りに乗ってエネルギー政策を行うのではなく、松川町で考え抜いた答えを出してほしい。例えば下記の3点のような視点で。①その素材の収集、生産、運搬、修繕、リサイクル、廃棄に至るまで全ての二酸化炭素排出量を追跡する。②この活動による人件費を始めとした費用に対する効果(松川町の受益)を確認する。③松川町の産業や家計に対する影響を確認する。専門家やAIが出したような一般論は不要。

今年、ソーラーシェアリングを検討したが、農水からの補助を受けるためには県内の公共施設への電力供給が必要とのことで、町に相談をして町内で電力を受け入れてくれるところを探したが見つからず、補助を受けられず頓挫した。役場で相談した際に補助金を受けれることを知らなかった。役場の中でも教育が必要だと感じる。また町内への情報提供や町民の意識改革が必要ではないか。

このアンケート用紙を返信してくれる人はどのくらいいるか？紙のムダ使いではないか？山梨県アルプス市ではアンケートをQRコードで行い回答してくれた人の中から抽選で白ぶどう・ほうとうなど特産物をプレゼントしてくれる企画がありました。アンケートの内容は違うけれど町の特産品を知るきっかけにもなり、観光も農業も潤うと思う。

昔と違って雨が降るといって、シトシトではなく短時間で大量な雨が降るといって気象状況。毎年異常気象に悩まされ今までの作物では作りづらくなっている。そのうえ、野生の猿・鹿・イノシシ等の被害の為に、耕作放棄の田畑も増えている。なんとかこれらをいかして、活気ある町づくりを願っています。

松川町が現在取り組んでいる対策とその結果をわかりやすく手軽に観覧出来る様にできればいい。地球温暖化対策として松川町以外（日本に限らず）ではどのような取り組みをしていて、松川町に取り入れて効果が期待できそうな対策の事例があればホームページ等で見れるようにしてほしい。

地球温暖化対策は、まさに地球規模で考え、行動していかなければならない問題である。誰がやってくれるだろうと他人事のように捉えていては先延ばしになり解決には至らない。今の生活は便利で心地良いがはたして地球又は人間以外の動植物・生物にはどうなのだろうか？

ソーラーパネルなど屋根置き物は、大地震が起きた時に本当に落ちてこないのか心配。2次災害に繋がる可能性のある物は、特に人が密集している地域では避けるべき。Q17にも記入しましたが、温暖化は防止したい。手間や労力がかかるものは極力外す。

「地球温暖化」と言って騒いでいますが、確かに今年の夏は暑かったですが毎年同じ気温というのはありえないので、暑かったり寒かったりするのは仕方ないと思います。温暖化の原因が二酸化炭素（化石燃料を多く使うため？）と言っているのも疑問です。

今後、町で建設する建築物・又は補強工事等をする建物には、太陽光パネル等取り付けたいと思ふ。設備投資はかかるが長い目で見れば元は取れるのではないかな。その際、パネル等がゴミ化しにくい耐久性のある物であれば尚良いと思う。

農業の分野ですが、資材・肥料の高騰における経営の圧迫課題・環境保全型農業での地域で手に入る資材・堆肥など作り、緑肥の活用への転換・コストを抑え・農産物に食べ物以外の価値を付加、自然に優しいブランドとして進めてみては。

竹村様のような少し片寄ったやり方(太陽光発電への)は絶対に反対です。住民はそれでは絶対についていけないと思います。フェアな皆が納得いく、金銭目当てでないやり方で地球温暖化のストップを進めてほしいと思います。

正直町が行ってる政策を十分に知らなかったり、知っていても自分がどのように関わることができるか考えたりする機会が少ないから、温暖化対策などの提案が他人事のように思えて協力しようという気持ちが強く持てない。

これから対策に向けて新規にやり始める事は時間もかかるし、かなりの予算も必要になると思います本気でやるのであれば今の状態で出来ることを町内全員でやりながら新たな目標に向けて進めるほうが良いと思います。

電気自動車や大規模な太陽光発電などの推進は、特定の国や企業を利する可能性があり反対です。まずは森林整備や公園などの緑地の整備、この先耕作者がいなくなるであろう農地で何が出来るかを考えていただきたい。

太陽光発電、蓄電池の補助制度に応募しましたが、抽選で落選したと言われました。その制度を広報紙で見たのは、締め切り日直前。選考方法も不透明。広く町民が平等に受けられる制度になることを願います。
役場・小中学校・その他公共施設の再生可能エネルギーの導入・導入前後の比較結果を公表し町民へ導入推進。松川町のCO2排出量・吸収量の定量データ分析・目安となる数値がなければ、効率的な施策が困難。
小中学校で小さい頃から地球温暖化についての知識を学ぶ事で、より大切な課題だと思えるようになると思います。大きな事業所だけでなく個人でも取り組めるような仕組みを町で考えて進めてほしいです。
従来の太陽光パネルは20から30年で廃棄になるその時産業廃棄物としての処分が確立していない製品が中国製品。現在25年に量産するとしている日本製のペロブスカイト太陽電池を提案します。
自分で使う電気は自分で作ろう・・・の看板を見た気がする。その通りだと思う。太陽光発電のパネルは消耗期限が過ぎたらどう処分されるでしょう、大きなゴミになるかと思うと踏み切れません。
太陽光発電を導入した際、沢山の書類を用意して補助金を申請しましたが、抽選で外れたと補助金が受け取れなかった。受付をした職員は卒にまだまだ余裕があると言っていたのに・・・。
個人の住宅の太陽光発電設備（蓄電池ふくむ）や電気自動車への補助額を上げて、多くの人が設置・購入を推進してほしい。今の補助額では低所得者では導入しにくいと思う。
ソーラーパネルは永久に使える物でなく、ゴミになるときが来ます。新しく物を買いはじめるときには捨てる時の事も考えられるよう、どんな物でもそういった意識でお願いします。
木質バイオマスの活用、たとえば清流苑での追たきボイラーを木質に変える（木を使う事により山が整備されるという理由）議員にはがっかりした。目先の利益計算しかできないのか？
「チョイソコまつかわ」は使いにくいです。500円払うのなら土・日も動いてください。以前の無料バスが良かったです。今回のアンケートに関係ないかもしれませんが。
町民の意識を高める為の補助金・もしくは減税等わかるやりかたで行ってほしい。住民の人達に広報で知らせるべき。尚このアンケートの結果の報告を望みます。
手っ取り早い太陽光発電を進めてはいかがでしょうか。景観の面や収入の面だけでなく耐用年数後の事も考え学習資料を用意呼びかけたらと思う。素人考えです。
太陽子発電を導入したが、十年を過ぎると、買い取り金額が6分の1に下がり、がっかりしている。もう少し高くしてもらえたら嬉しい。（原発反対の立場から）
アンケートで町民の意見を聴く機会を作って下さったことは、とても良い事だと思います。ありがとうございます。これから、もっと良い町作りをしてほしい。
ゴミ排出がもっと細かくわかるガイドマップがほしい。屋台の電池入りのおもちゃなど、解体できないものはどうすればいいかなど、排出で困ることが多い。
生ゴミだけでなく家庭の庭木の枝・立木など持ち込めるところがほしい。欲しい人が持っていけばよい（風呂の薪木やチップにして道へ撒く）
電気自動車の導入は、インフラの整備(充電スタンド)が必要、しかし供給される電気が、再生可能エネルギーが来ていないと意味がない。
将来的にエネルギーの配分をどう考えているのかが解るように示して、どう移行していくのか計画が解るよう示して頂けるとありがたい。
二酸化炭素の排出量は日々の生活の中から60%排出しているという。人々の意識を変えるために学習・広報活動を広めたい。
エネルギー政策と同時に自然環境・野生動物の保護も同時に考えてほしい。町の政策の広報も、もっと積極的に行ってほしい。
地球温暖化対策・エネルギー政策を住民に徹底しているとは思えない。関心のない住民も多いと思うが・・・??
太陽光発電設備や蓄電池の設置をするにはいくら補助金が出ても高いです。もう少し補助金が出ると設置しやすいのでは？
この中に含まれていない水道料について、松川町の水道料は高過ぎ、温暖化に伴う水資源の確保と料金引き下げが必要。

補助金制度のみでは低所得者(年金暮らし)には、手が出ないが補助金＋長期返済システムがなければ何もできない。
一般住宅への省エネ機器導入においての補助や助成のハードルを下げて個人宅でも導入しやすくして頂きたい。
樹木のエネルギー利用は地産地消の大きなポイント。豊富な原料を利用できる方策を立案・実行頂きたい。
町の地形・気候等の特色を生かした対策を実施してほしい。その為に様々研究機関や企業に協力を仰ぐ。
地球温暖化によりこの先どうなるのや危機感を感じている人が多い。当面の物が欲しいし必要だと思う。
再生エネルギー(太陽光)を設置可能なところに進める。水素エネルギーの情報で役に立てば進める。
公用車のＥＶ化太陽光発電で町全体が賄われるといいプールなど水場で遊べる場所の確保。
国の行い方を良く知り、高森町のような先進的に見習う事をした方がよいです。今回の事に限らず。
もう少し、企業招致などして、環境に配慮した会社をいければ環境・就職先にも良いのでは。
町政の一貫性が無い。町長が変わっても、長期計画が変更されるのは予算の無駄づかいになる。
自然エネルギーが町内には、沢山あるのに利用されていない。山・川・森材等(自然)
以前に始めた小水力発電は水は豊富なので良いと思いますが、問題があるのでしょうか。
電気代等上がってくると思うので、水道代減額もしくは電気代の補助金などがほしい。
住宅用太陽光発電設備の補助充実、予算確保と補助の対象の抽選を止めて均等割に変更。
省エネの商品を買うときに、補助金があればありがたいです。(高額のもでなくても)
条例で厳しく制限すべき。いくら啓蒙しても人々の善意に頼るばかりでは不可能。
毎日自動車で買い物をしているので、１週間に３回に少なくして買い物をしたい。
太陽光パネルの設置を促すのであれば、補助金制度を拡充して頂きたいです。
営農型太陽光発電(ソーラーシェアリング)の促進。環境教育を充実させる。
町としての重点項目を整理して町民が実施できそうな補助制度の拡充を図る。
町の温暖化対策、エネルギー政策を(具体的に)広報誌を通じて知らせて頂きたい。
昔遊んだ広場がソーラーパネルになってしまったのは悲しかったです。
太陽光発電エネルギーを有効に活動できるように推進してもらいたい。
個人も大切ですが、町が先頭を切って町民皆でひとつ克服する。
太陽光発電設備及び蓄電池の設置に特別補助金を出してほしい。
このようなアンケートをすることは、素晴らしいと思います。
温かい便座・ウォッシュレット・気持ち良いよね…夏でも？
老人世帯であり、先が短いと思うとあまり対策等感じない。
他の町がやっていない先進的な事をやってみるのが大事。
実現できるのであれば全てのエアコン温度設定の義務化。
太陽光パネルの廃棄について知りたい(費用や方法)
小・中・高教育において、徹底した環境教育の充実。
子供のころからの環境教育学習を徹底する事が良い。
Q1511・12・14を進めると良いのでは。
全く分からないけれど協力は惜しまない。
傾斜地を利用した水力開発が可能であれば。
片桐ダムでの発電・松川町電力会社の設立。
電気自動車切り替えには補助のお願い。

節電設備の補助金を出してほしい。
できるだけ屋根のソーラーの推進。
個人住宅にこまやかな助成金。
すべてにおいて中国を排除。
風力発電を考えたかどうか。
あまり必要ではないのでは。
補助金のさらなる充実。
補助金額の見直し。
間伐材の配布。
職員が代筆。

1-2. 事業者アンケート集計

1-2-1. 事業者アンケート 選択回答集計

全応答 100 (社)

■【属性】 御社についてお聞かせください。

※いずれも回答者ご自身において当てはまる番号に「○」をしてください。

問 : 御社情報

問1：御社名	応答 100 (聴き取り調査のための目的であったため、ここでは掲載しない)
問2：担当部署	
問3：担当者名	
問4：連絡先	
問5：本社所在地	

問6：御社・町内事業所の業種（複数業を営む場合は、当てはまる番号すべてに「○」をしてください。）

事業所の業種	延べ業種数（複合回答あり）	割合
建設業	21	17.2%
その他・サービス業	18	14.8%
卸・小売業	17	13.9%
製造業（工業系）	17	13.9%
農 業	8	6.6%
製造業（その他）	8	6.6%
飲食業	8	6.6%
医療・福祉	8	6.6%
電気・ガス・熱供給・水道業	4	3.3%
金融・保険業	3	2.5%
製造業（飲食料品系）	2	1.6%
情報通信業	2	1.6%
不動産・物品賃貸業	2	1.6%
生活関連サービス業	2	1.6%
運輸・郵便業	1	0.8%
学術研究・専門技術サービス業	1	0.8%
林 業	0	0.0%
漁 業	0	0.0%
鉱業・採石業・砂利採取業	0	0.0%
宿泊業	0	0.0%
教育・学習支援業	0	0.0%
合 計	122	100.0%

問7：御社・町内事業所の種類（当てはまる番号すべてに「○」をしてください。）

事業所の種類	延べ社種数（複合回答あり）	割合
事務所・営業所	55	39.3%
店舗	37	26.4%
工場	33	23.6%
その他	11	7.9%
倉庫・輸送センター・配送センター等	4	2.9%
合 計	140	100.0%

問8：御社・町内事業所の従業員数（当てはまる番号1つに「○」をしてください。）

従業員数	人 数	割合
5人未満	57	57.0%
5～9人	17	17.0%
10～29人	13	13.0%
30～49人	3	3.0%
50～99人	4	4.0%
100～199人	5	5.0%
200～299人	1	1.0%
300人以上	0	0.0%
合 計	100	100.0%

問9：御社の操業年数（当てはまる番号1つに「○」をしてください。）

操業年数	年 数	割合
3年未満	5	5.0%
3年以上～10年未満	6	6.0%
10年以上～30年未満	22	22.0%
30年以上	67	67.0%
合 計	100	100.0%

■【意識調査】 地球温暖化についてお聞きします。

※当てはまる番号に「○」をしてください。

Q1：地球温暖化や気候変動リスク、エネルギーの問題について、御社の事業活動に対して、どの程度影響があるとお考えでしょうか。（1つだけ）

地球温暖化や気候変動リスクに対する意識度	人 数	割合
どちらかというに影響がある	40	40.0%
大いに影響がある	24	24.0%
あまり影響がない	19	19.0%
わからない	13	13.0%
影響がない	4	4.0%
合 計	100	100.0%

Q2：御社の事業活動に影響がある、または不安がある事項をお聞かせください。（3つまで）

地球温暖化や気候変動の事業活動に対するリスクの意識度	延べ人数（複数回答）	割合
異常気象による自然災害の増加（例 ゲリラ豪雨、猛暑日等）	41	20.2%
温暖化による健康被害（熱中症、未知の感染症等）	34	16.7%
省エネルギー対策の推進	27	13.3%
農作物への影響	19	9.4%
防災対策の強化	18	8.9%
気候変動リスクに伴う原材料調達の困難、サプライチェーンへの影響	15	7.4%
再生可能エネルギー（※1）の活用	14	6.9%
温室効果ガスの排出抑制	13	6.4%
わからない	12	5.9%
生物多様性の喪失	5	2.5%
その他	5	2.5%
合 計	203	100.0%

（※1） 再生可能エネルギーとは、自然界に存在する永続的に利用することができるエネルギー（非化石燃料）を指す（例：太陽光、水力、風力、バイオマス^{（※2）}、地熱など）。以下、省略して「再エネ」と称する場合があります。

（※2） バイオマスとは、動植物などから生まれた生物資源の総称。木質バイオマスは、地域の間伐材や製材廃材等の木質系の生物資源をいう。木質以外のバイオマスは、農業残さ、家畜排せつ物、生ごみ（食物残さ）、下水汚泥等の生物資源をいう。

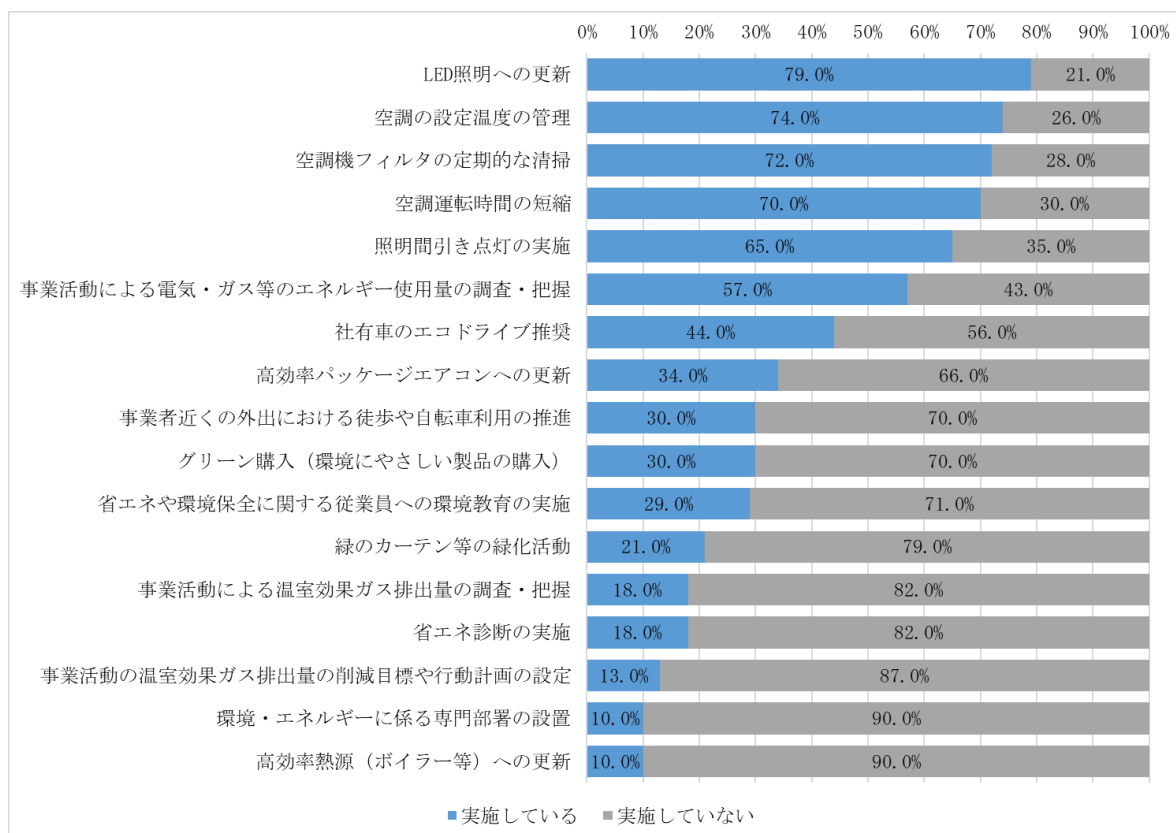
Q3：経済活動の発展と地球温暖化対策・自然環境の保全との関係について、どのようにお考えか、お聞かせください。（1つだけ）

経済活動の発展と地球温暖化対策・自然環境の保全の関連性	人 数	割合
経済活動も、地球温暖化対策・自然環境の保全も、両立させる必要がある	64	64.0%
現在の経済活動を多少変えてでも、地球温暖化対策・自然環境の保全を行う必要がある	16	16.0%
現在の経済活動を変えない範囲で、地球温暖化対策・自然環境の保全を行う必要がある	8	8.0%
地球温暖化対策・自然環境の保全を最優先に行う必要がある	6	6.0%
わからない	5	5.0%
地球温暖化対策・自然環境の保全よりも、経済活動を向上させる方が重要である	1	1.0%
合 計	100	100.0%

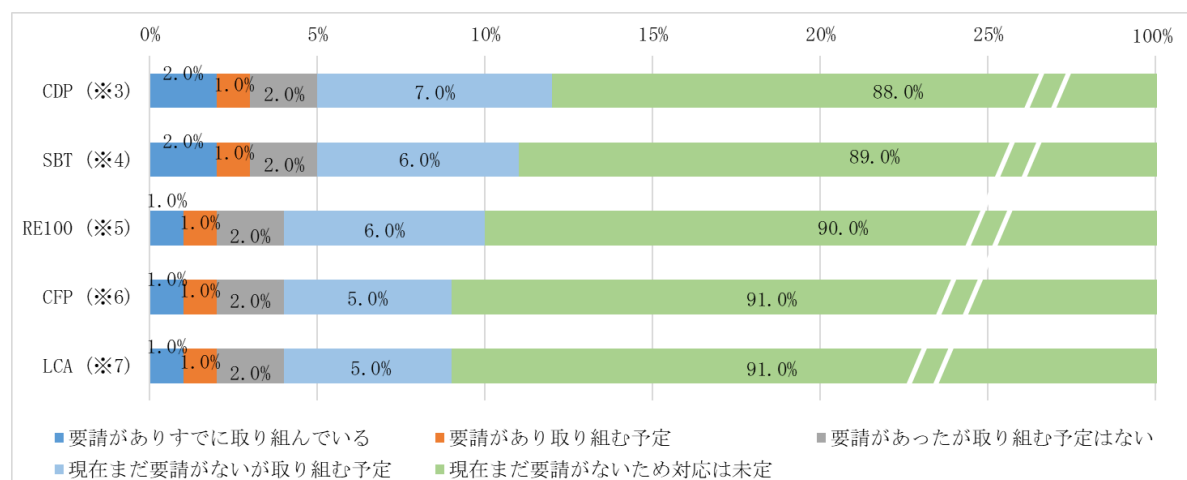
■地球温暖化対策への取り組み状況についてお聞きます。

※当てはまる番号に「○」をしてください。

Q4：現在、御社・町内事業所において実施されている地球温暖化対策への取り組みについて当てはまる番号に「○」をしてください。



Q5：御社・村内事業所の主要取引先等から、以下の脱炭素対策に対する取り組み要請はありますか。現在の取組状況をお聞かせください。

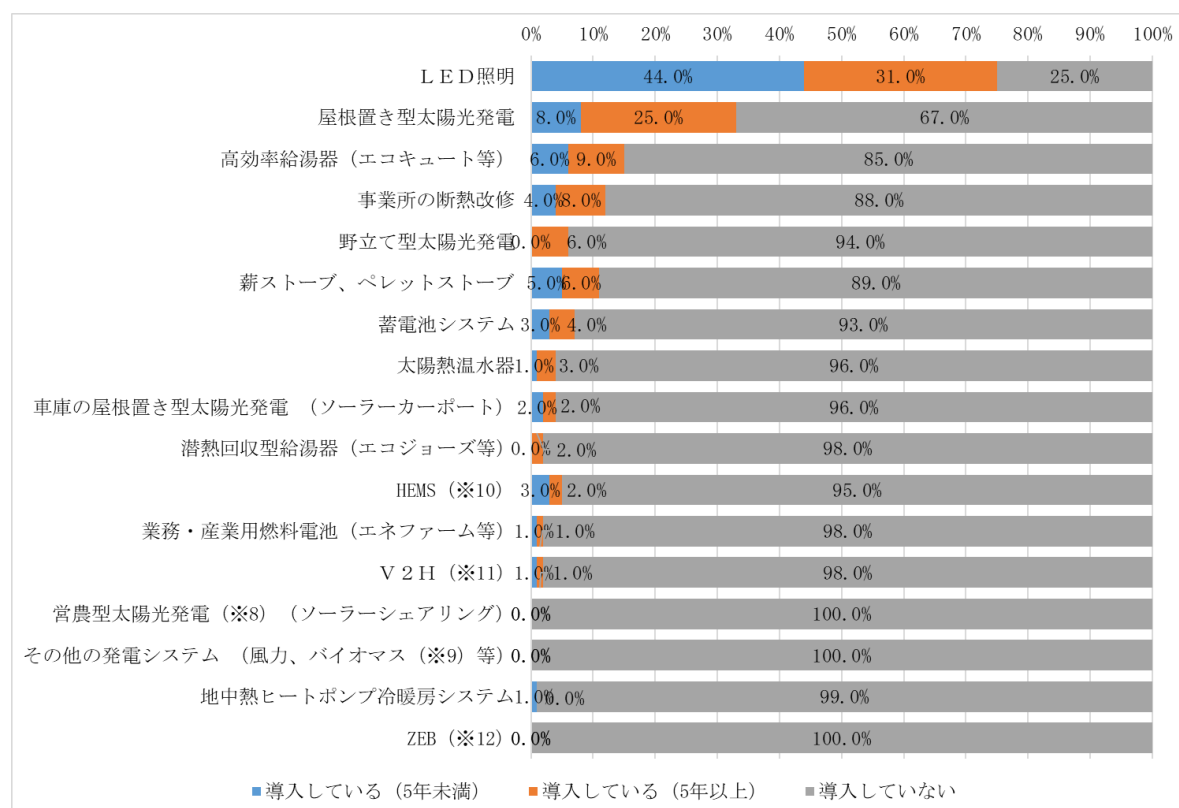


- (※3) CDP (Carbon Disclosure Project) :
企業の温室効果ガス排出量や、気候変動課題に対応するための組織体制や戦略、実際の取り組みといった環境課題関連の内容が、選択式と記述回答式の設問が合わさって構成された質問書を通じ開示される制度。
- (※4) SBT (Science Based Targets) :
企業が設定する温室効果ガス排出量削減目標が科学的に正当化されているかどうかを認証する制度。
- (※5) RE100 :
企業が100%再生可能エネルギーを導入することを目指す国際的な制度で企業が再生可能エネルギーの導入目標を設定し、その達成状況を報告。
- (※6) CFP (Carbon Footprint)
製品やサービスの温室効果ガス排出量を算出することで、環境負荷を評価する指標を開示する制度。
- (※7) LCA (Life Cycle Assessment) :
製品やサービスのライフサイクル全体にわたる環境負荷を評価する制度。

■省エネ・再エネ機器・設備等についてお聞きます。

※当てはまる番号に「○」をしてください。

Q6：現在、御社・町内事業所において再エネ・省エネ設備・再エネ設備等の保有状況について当てはまる番号に「○」をしてください。



（※8） 営農型太陽光発電とは、農地に支柱を立てて上部空間に太陽光発電設備を設置し、太陽光を農業生産と発電で共有する取り組み。農作物と太陽光パネルで太陽の日差しを「シェア」して活用しているため、「ソーラーシェアリング」とも呼ばれる。営農型太陽光発電は、農業と再生可能エネルギーを結びつけられる。

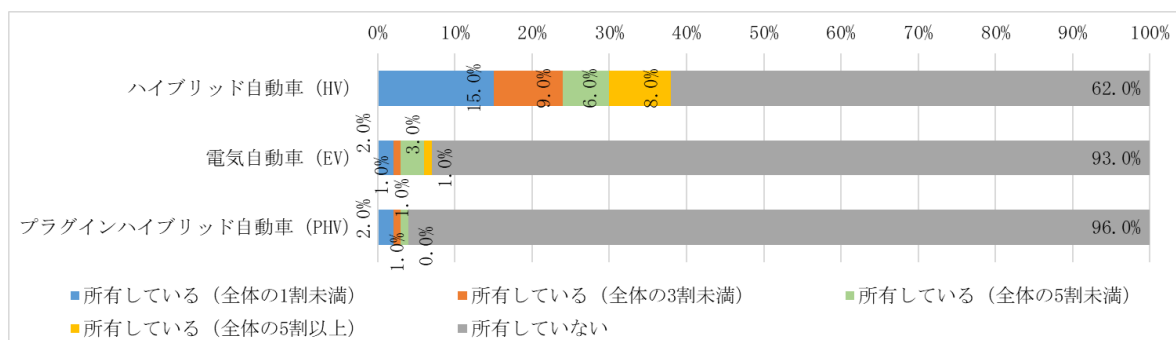
（※9） バイオマスとは、動植物などから生まれた生物資源の総称。木質バイオマスは、地域の間伐材や製材廃材等の木質系の生物資源をいう。木質以外のバイオマスは、農業残さ、家畜排せつ物、生ごみ（食物残さ）、下水污泥等の生物資源をいう。

（※10） HEMSとは「Home Energy Management System（ホーム エネルギー マネジメント システム）」の略。家庭で使うエネルギーを節約するための管理システム。家電や電気設備とつないで、電気やガスなどの使用量をモニター画面などで「見える化」し、家電機器を「自動制御」できる。

（※11） V2Hとは「Vehicle to Home」の略で、日本語訳すると『クルマから家へ』という意味。具体的には、電気自動車（EV）に貯めている電気を住宅でも使えるシステム、仕組みのことをV2Hと呼ぶ。

（※12） ZEB（ゼブ）とは、「ネット・ゼロ・エネルギー・ビルディング」の略。電気や熱などのエネルギー使用量を多く減らすために、建物の断熱性能や省エネ性能を向上し、さらに太陽光発電などの再生可能エネルギーを利用して生活に必要なエネルギーをつくり出すことにより、建物の一次消費エネルギー量（空調・給湯・照明・換気）が計算上ゼロエネルギーの建物のこと。

Q7：現在、クリーンエネルギー自動車^(※13)を所有していますか？ 当てはまる番号に「○」をしてください。



（※13） クリーンエネルギー自動車とは、走行時の排出ガスが少ない、または全く出ない自動車のことをいう。

車 種	略 称	動 力	燃 料
電気自動車	EV	モーター	充 電
ハイブリッド自動車	HV	エンジン+モーター	ガソリン
プラグインハイブリッド自動車	PHV 等	エンジン+モーター	充電+ガソリン

Q8：御社・事業所に省エネ設備や再エネ設備等を導入する場合に、課題があればお聞かせください。（当てはまる番号すべてに「○」をしてください）

省エネ設備や再エネ設備等を導入する際の課題	延べ人数（複数回答）	割合
設備に係る経費が高い	69	36.1%
事業所の構造上、設置が難しい	32	16.8%
通常業務が忙しく、エネルギー管理や地球温暖化対策などを検討する余裕がない	23	12.0%
設置に伴って発生する事務手続等が面倒である	21	11.0%
設置によるメリットやデメリット、効果的な手法など、詳しい内容がよくわからない	17	8.9%
どこに相談してよいのかわからない	12	6.3%
特に課題はない	9	4.7%
その他	8	4.2%
合 計	191	100.0%

■【要望調査】行政の地球温暖化対策についてお聞きします。

※当てはまる番号に「○」を、又は記入をしてください。

Q9：御社は、地球温暖化対策を進めるにあたり、松川町全体でどんな取り組みが必要であると思われるかお聞かせください。（3つまで）

地球温暖化対策に関する考え	延べ人数（複数回答）	割合
再生可能エネルギーの導入を進める	39	15.0%
国、県、町等による一般住宅や事業所への補助・助成を拡大する	34	13.1%
ごみの減量化やリサイクルを徹底する	25	9.6%
森林整備を進める（間伐、植樹等）	23	8.8%
工場・店舗などの事業所において省エネ化を進める	23	8.8%
省エネ行動を心がけるなどのライフスタイルを見直す	21	8.1%
住宅や建築物の省エネ化（ZEH（※14）、ZEB（※15））を進める	17	6.5%
電気自動車や燃料電池車などの次世代自動車の導入を進める	16	6.2%
公共交通（バス、タクシー、電車等）の交通体系を改善する	13	5.0%
環境情報を広く一般に提供する	10	3.8%
環境教育・学習を充実させる	8	3.1%
家電製品等の省エネ化を進める	7	2.7%
その他	7	2.7%
物流などの運輸体系を改善する	6	2.3%
炭素税の導入、低公害車への優遇措置などの経済的取り組みを展開する	5	1.9%
水素エネルギー等、次世代エネルギーの活用を促進する	5	1.9%
二酸化炭素固定技術などの新しい技術を研究し開発する	1	0.4%
合 計	260	100.0%

（※14） ZEH（ゼッチ）とは、「ネット・ゼロ・エネルギー・ハウス」の略。

電気や熱などのエネルギー使用量を多く減らすために、住宅の断熱性能や省エネ性能を向上し、さらに太陽光発電などの再生可能エネルギーを利用して生活に必要なエネルギーをつくり出すことにより、年間の一次消費エネルギー量（空調・給湯・照明・換気）をおおむねゼロ以下にする住宅。

（※15） ZEB（ゼブ）とは、「ネット・ゼロ・エネルギー・ビルディング」の略。

電気や熱などのエネルギー使用量を多く減らすために、建物の断熱性能や省エネ性能を向上し、さらに太陽光発電などの再生可能エネルギーを利用して生活に必要なエネルギーをつくり出すことにより、建物の一次消費エネルギー量（空調・給湯・照明・換気）が計算上ゼロエネルギーの建物。

Q10：松川町ではどのような考えで環境問題やエネルギー対策に取り組むべきだと思われるか御社の考えをお聞かせください。

環境問題やエネルギー対策に関する考え	人 数	割合
町の財政に大きな負担とならない範囲で、推進すべきである	48	48.0%
町民や企業に対して支援を行い、主に民間活力を活かしながら推進すべきである	39	39.0%
費用がかかっても、積極的に推進すべきである	6	6.0%
その他	6	6.0%
取り組む必要はない	1	1.0%
合 計	100	100.0%

Q11：松川町全体として取り組むべき気候変動危機への適応(※16)について、御社が特に必要だと考える分野をお聞かせください。(3つまで)

気候変動危機への適応についての必要性	延べ人数（複数回答）	割合
自然災害分野（短時間強雨や大雨、土砂災害への対策など）	75	34.7%
健康分野（熱中症や感染症への対策など）	43	19.9%
農業分野（農作物への高温障害への対策など）	40	18.5%
産業・観光分野（事業活動や観光産業に対する影響の対策など）	37	17.1%
水環境分野（水不足への対策など）	11	5.1%
自然分野（絶滅の危機がある動植物の保全対策など）	5	2.3%
その他	3	1.4%
特に取り組む必要はない	2	0.9%
合 計	216	100.0%

(※16) 気候変動危機への適応とは、
気候変動による悪影響(自然災害、熱中症、農作物の品質悪化など)を回避・軽減するための取組のこと。

Q12：地球温暖化対策のために、松川町全体として、中期的（2030 年頃まで）に重視すべき方向性について、御社のお考えをお聞かせください。(3つまで)

中期的（2030 年頃まで）に重視すべき方向性	延べ人数（複数回答）	割合
ごみの排出を抑えて、再利用とリサイクルが普及した循環型社会が実現している町	44	20.1%
豊かな町の緑を守り、森林資源（木質バイオマス）の利用が進んだ町	42	19.2%
環境教育を促進し、子供からお年寄りまで皆で一緒に取り組める町	40	18.3%
太陽光発電や風力発電等の再生可能エネルギーが普及した町	30	13.7%
町全体で脱炭素化（CO2 の排出量ゼロを目指す）に向けた活動が浸透している町	24	11.0%
気候変動による健康被害（熱中症など）や自然災害に対する適応策が浸透している町	24	11.0%
「水素社会」を目指し、水素エネルギーを生かした町	10	4.6%
その他	5	2.3%
合 計	219	100.0%

Q13：御社・町内事業所では、これまでに省エネ設備や再エネ設備の導入において、国や地方公共団体の設備投資等に関する補助金を活用したことがありますか？

省エネ設備や再エネ設備の導入補助制度の周知度	人 数	割合
省エネ設備や再エネ設備に関する設備投資は行っていない	56	56.0%
補助金は活用していないが、設備投資を行った	25	25.0%
補助金を活用し、設備投資を行った	19	19.0%
合 計	100	100.0%

Q14：松川町では、地球温暖化対策について様々な地域課題との同時解決が可能と考えています。地球温暖化の影響のみにとどまらず、現状地域において課題だと感じていることをお聞かせください。(自然、景観（ゴミ）、温暖化による暮らしの変化、観光、農業、林業、交通、防災、福祉等)

応答 32（有効 31） >1-2-2. 事業者アンケート 記述回答集計 31P 参照

Q15：御社は、地球温暖化対策についての情報は、どちらから得ていますか。（当てはまる番号すべてに「○」をしてください）

情報への感度	延べ人数（複数回答）	割合
テレビ・ラジオ	58	28.3%
インターネット	56	27.3%
新聞	50	24.4%
広報まつかわ	19	9.3%
書籍・雑誌・専門誌	12	5.9%
その他	10	4.9%
合 計	205	100.0%

Q16：松川町の地球温暖化対策・エネルギー政策への提案など、ご意見があればお聞かせください。

応答 25（有効 25） >1-2-2. 事業者アンケート 記述回答集計 33P 参照

1-2-2. 事業者アンケート 記述回答集計

全応答人数 100（名）

Q14 : 松川町では、地球温暖化対策について様々な地域課題との同時解決が可能と考えています。地球温暖化の影響のみにとどまらず、現状地域において課題だと感じていることをお聞かせください。（自然、景観（ゴミ）、温暖化による暮らしの変化、観光、農業、林業、交通、防災、福祉等）

応答 32（有効 31）

＜キーワードの分類＞

1. 環境問題とエネルギー

再生可能エネルギー、太陽光発電、省エネ、温暖化、オーガニックビレッジ、ソーラーパネル、野立てソーラー発電、農業の使用、温暖化による暮らしの変化

2. 地域開発とインフラ

公園の整備、商業施設、教育地区、観光地区、リニア、道路整備、インター周辺の開発、交通輸送、生活インフラ、企業立地推進

3. 社会問題

男女平等、病児保育、子供の育成、高齢化、自治会組織の崩壊、人口減少、高齢化、人の人間性の育成

4. 地域経済と産業

果樹園、農業振興、観光、物流、農林業、果物の町、ビジネスホテル、飲食店、商店街、観光農家、工場の環境配慮設備、農地の荒廃

5. エネルギー効率とコスト

ソーラーのコスト、撤去費用、電気自動車の補助金、薪ストーブの普及

6. 地域の安全と健康

地震、自然災害、防災意識、避難所、水道水の味

7. その他

時代に合った人の繋がり方、地球産業の連携、首長のリーダーシップ、自治体の問題、ゴミのポイ捨て

回答内容

「地球温暖化を防ぐために再生可能エネルギーが良い＝太陽光発電」は、理屈としては分かるが、野立ての太陽光設備が増えてしまっても、町の景観上良くないと思う。また、企業・事業所に省エネ等の活動を求めるのも良いが、事業所も人手不足の中で事業活動を行っており、自治体・行政からあまり様々な活動を求められるのも大変だと思う。ここ最近、国や行政が民間に求めることが多すぎるように思っています（非効率なことを過度に求めてくる傾向にあると思う）。

公園の整備が行き届いておらず、子供が安心して遊べる公園が少ない。男女平等、女性も働ける社会というのが、病児保育が受け入れられるところがないため、結局女性が働きづらく、女性が正社員では働けず、就職できる場所も限られてしまっている。このままでは子供も育てにくく、松川町に住みたいと思う家族は減ってしまう。

活気のある町にするには、人が来る大規模の商業施設が必要。そのためには将来設計を示すべし、商業地区・教育地区・観光地区など。中川村までいい道路が出来ているがこちら側はどうか？リニアとの関連はできているのか、町が活性化しなければどうにもならない。町民として残すべきものと改良するものの指標を示すべき。

自治会組織の崩壊が懸念される。理由は高齢化世帯の増加と自治会内での役員選出の時のトラブル(自己負担)等で会員脱会とかが特に最近目立つようになっている。年々会員が減少して行く中で今一度自治会のあり方又、役員への負担の軽減等皆で考えて行くべきだと思う。

松川町だけではどうにもなりません、JR 飯田線は主に通学で利用されていることを考えると、天竜峡以北は廃止して、効率の良い経路でのバス輸送にしたほうが利便性もよく、トータルで省エネになると思います。

松川町は果樹が基幹産業ということもあり、農薬の使用量が多いことが心配です。安心して移住してもらえ る町になるためにも、オーガニックビレッジへの取り組みをさらにすすめていくことが大切だと思います。
物流を行っている、今や松川町では、果物の町でなくなっている。温暖化により、松川で生産できるくだ ものの種類が変化していると思う。農業・観光・物流含め色々に取り組む必要があると思う。
せっかくインターがある町なのでビジネスホテル等素泊まりできる所ができれば、観光客や仕事で出張の人 達が利用できる所があれば飲食店も商店街も観光農家も潤うのではないのでしょうか。
松川町の資源としての強みは農業・観光・自然・といった分野と考えます。グリーン分野への公共財政の集 中的な投下取組こそ、町の強みを生かしていくために必要と考えます。
今までソーラーを使用してきたが、故障したために費用をかけて撤去したが、これからソーラーを再び行う だけのメリットがあるかどうか疑問。特に費用面で採算に合わない。
農業振興地域として伐採された農地は景観的にどうかと思う、早急に利用方法の検討が必要ではないでしょ うか。ゴミのポイ捨てや、道路にはみ出した樹木の枝などの処理。
太陽光発電は高温になると発電量が減り、又 10 年以上使用した後の処理の問題もあります。町で太陽光パ ネルを回収していただければ是非設置したいです。
果樹園を経営していますが、ここのところ平年とか例年といった言葉が通用しない気候でとても栽培しにく くなってきたような気がします。
地震や自然災害への備えとして地域の防災意識の醸成や避難所の整備、情報伝達の強化が課題だと感じま す。
時代に合った人の繋がり方。
地域産業(農業・工業)の連携。人口減少の改善。交通輸送・生活インフラの整備。大学誘致。
首長の強い牽引が必要。将来のビジョンが見えない、まず何をするのか具体的な目標が必要だ。
自治体を抜けていく住民が多く、入会している住民の負担がどんどん重くなっていく。
野外・耕作地を潰してまで、ソーラーパネル設置をするのはどうなのか。
林業が積極的に灯油より安価な薪を提供し、薪ストーブの普及を図る。
インターがあるとことなので、インター周辺の開発・整備。
工場の環境配慮設備への更新費用が莫大。
電気自動車の補助金等進めて欲しい。
人口減少対策第一、地域の繋がり対策。
地域としての課題は、特に感じない。
農地の荒廃、企業立地推進の停滞。
温暖化による暮らしの変化。
農林業、人口減少、高齢化。
野立てソーラー発電。
人の人間性の育成。
水道水の味。

応答 25 (有効 25)

<キーワードの分類>

1. 環境問題とエネルギー

温暖化、CO₂ 排出、太陽光発電、原子力発電、ゼロカーボン、省エネ設備、メガソーラー、太陽光発電の普及、省エネ、SDGs、エネルギー消費の縮小、温暖化対策、太陽光発電の推進、水力発電

2. 地域開発とインフラ

道路整備、交通インフラ、工業団地、商工業用地、空き地の活用、EV 化、区有林や山間地の整備、太陽光発電の活動、空地利用

3. エネルギー効率とコスト

EV、HV、PHV の促進、ガソリン車との CO₂ 排出比較、製造時と廃棄時の CO₂ 排出、工場
の環境配慮設備への更新費用、省エネ設備の補助金

4. 地域経済と産業

果樹の品質低下、熱中症発生率、エネルギー使用率、果樹への温暖化の影響、品種改良や品種替
え、樹木の伐採された農地の有効活用、林業と薪ストーブの相互作用

5. 社会問題と地域コミュニティ

事業所向け講習会、ゼロカーボンへの取り組み、高齢者の山の手入れ、個人の意識、補助や助成
金のハードル、全町民の関心、個人事業主への対象拡大、専門課の設置、理解不足

6. その他

物を大切にする気持ち、ムダをなくす、グリーン分野への集中的な取り組み

回答内容

①樹木の伐採された農地の有効活用(高森町のように町で農地の利用方法を決められるように)②近隣町村と比較して、松川町の道路は非常に狭く使いにくい。工業団地に大型トレーラーがアクセスすることができない。交通インフラを整備することで流れがスムーズになり、町内を走る車の低燃費が計れるのではないのでしょうか。また、道路、商工業用用地を整備することで、町外から環境に配慮した優良企業の呼び込み、町内企業の環境に配慮した建て替えの促進など、広い分野で空き地の活用を進めていただきたい。③EV、HV、PHV は無闇に促進するべきではないと思います。使用中こそエコではあるが、製造時、廃棄(リサイクル)時にガソリン車と比較して大量の CO₂ を排出していることをご存知でしょうか?現在の技術ではガソリン車の方がトータルで CO₂ 排出量が少ないのが現状です。④事業所向けに講習会などを行い、ゼロカーボンに取り組むため、行政からの指導、補助が無ければ零細企業では難しいです。

松川町で温暖化がどの程度進み(例えば、町の平均気温、最高気温がどれくらい上昇しているのかなど)、どのような弊害が出ているか(果樹の品質低下率、熱中症発生率等、空調に使うエネルギー使用率がどのくらい上がっているかなど)、数字で示す。そして、最も効果的な対策が何であるか(太陽光発電の普及、身近な省エネ方法の普及など)を数字で示し(何をしたらどのくらい温室効果ガスが減り、どのくらい温暖化を抑えられるか、何もしなければどれくらい温暖化が進むのかのシミュレーションなど)、意識を高めてもらう。特に果樹の町松川においては、温暖化の果樹への影響について現状を調査をし、このまま同じ作物を同じ方法で作っていきけるのか判断すると同時に、品種改良や品種替えのため研究、指導、援助が必要かと。

環境に優しく CO₂ 排出削減に最も効果的な発電方式は原子力発電です。一方で太陽光発電は今以上に増えると系統電力供給の不安定を招きます。そろそろ太陽光発電推進の看板は取り下げるべきだと考えます。こういった最新の情報に町もブラッシュアップしていただきたいです。

CO₂排出を減らしていくことは大切ですが、「ゼロカーボン」という言葉はCO₂が悪者という意識を広めてしまい、以外の取り組みが疎かになりかねないので、必要性も含め片寄った対策や政策にならないような検討が必要だと思います。

建物の断熱や省エネ設備の普及など、エネルギー使用の効率化を図ることも重要だと思います。効果的な省エネ対策やエネルギー管理方法について情報提供や補助金制度の導入などしていただけると地球温暖化対策につながると思います。

所有者が高齢で山の手入れができない等の方の為の補助金等あれば、間伐や植樹が出来る様に整備が出来るのではないのでしょうか。手続きは簡単にできたら尚いいと思います。

松川町にもメガソーラーが多くありますが、他電気メーカーに売るのでなく、町で利用したり、EV化を進める電源にしたり、取り組んでも良いと重います。

区有林や個人所有の山間地の緑化促進の為に補助金があれば、所有者が高齢で手が入れられていない山を整備して植樹することができると思います。
今まで同様のエネルギー消費は難しいと思います。エネルギー消費の縮小に向けた活動が最も必要と思っています。
温暖化による対策が本当に費用をかけて必要か分からない。実感として湧かないので他人事として捉えている感がある。
ルールを明確化して、太陽光発電を積極推進。林業と薪ストーブの相互作用による原油依存の低減。
自分の住む場所であるという意識を持って個人個人がやっていかなければいけないと思います。
補助、助成金のハードルが高い、中小企業問わず個人事業主も対象として頂きたい。
全市民が関心をよせるようなイベントなり発表会なりを行うべきと思います。
太陽光発電の活動に取り組めるようにして欲しい。空地利用の取り組みなど。
SDGs 言葉に踊らされるのではなく物を大切にする気持ちが大事。
会社の方で取組んでいるので個人で大きな事は行っておりません。
松川町における具体的な方針・施策がありましたらご教示ください。
昔のようにムダをなくして、エネルギーを使わない。
グリーン分野への集中的な取り組みを希望します。
工場の環境配慮設備への更新費用への補助。
専門課を作り、今から活動すべき。
水力発電の拡大・推進。
まだまだ理解不足。
省エネ設備の補助金。

資料編 以上

-----以下空欄-----

松川町地球温暖化対策実行計画（区域施策編）

資 料 編